

# クラックゲージ FACシリーズ

## クラックの進行度を測定

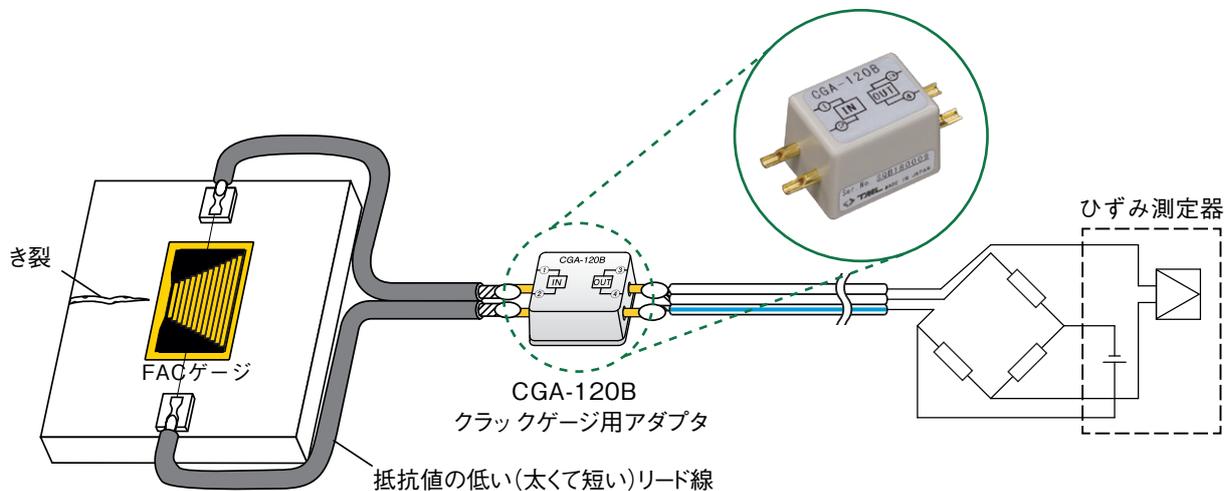
機械、船舶、航空機、車両など金属疲労によって発生するクラックの長さや伝播速度を測定するゲージです。予めクラックの発生している場所や予想される場所などにクラックゲージを接着して使用します。クラックが進行することによりグリッド線が順に断線し、出力値が変化します。



### 特長

- クラックの進行度や伝播速度を電氣的に測定
- 専用アダプタ (CGA-120B) の使用により従来のひずみ測定器が仕様可能
- グリッド前後に2本のトリガラインがあり、測定の自動化に利用可能 (FAC-5)

### 接続図 (例)



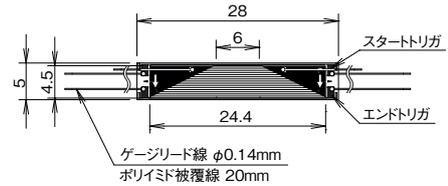
## 仕様

型名	FAC-5	FAC-20
測定範囲	4.5mm	20mm
抵抗値	約1Ω	
グリッド線間隔	0.1mm	0.5mm
グリッド線本数	46本	41本
グリッド線1本当たりの出力	約 $45 \times 10^{-6}$ ひずみ*	約 $40 \times 10^{-6}$ ひずみ*
使用温度範囲	-30~+80℃	
適用接着剤	CN, RP-2	
ベース寸法	28×5mm	43×25mm

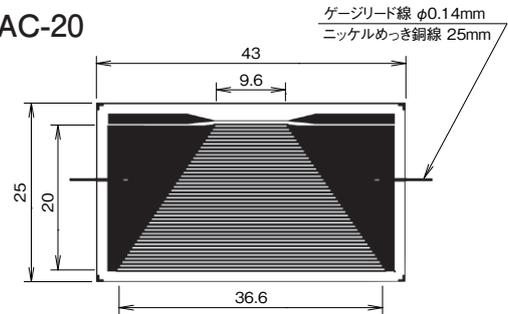
※クラックゲージ用アダプタCGA-120B使用時

## 外観寸法図

FAC-5



FAC-20



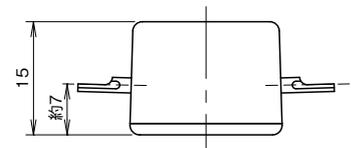
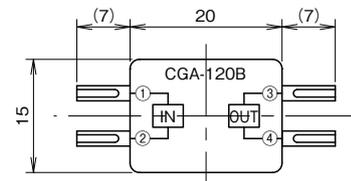
## クラックゲージ用アダプタ CGA-120B (別売品)

クラックゲージの抵抗変化をひずみ測定器で測定可能にするアダプタです。クラックゲージとアダプタの入力側(IN)をリード線で結線し、出力側(OUT)と測定器をリード線で結線することで測定できます。

## 仕様

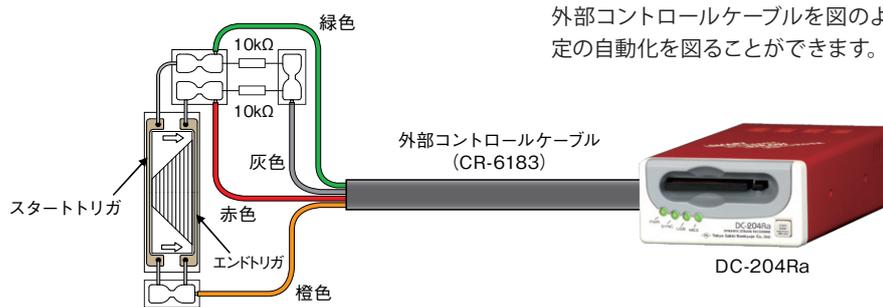
測定点数	1点
許容温度範囲	-30~+80℃ (結露を除く)
結線方法	1ゲージ法3線式結線法 120Ω
寸法	20(W)×15(H)×15(D)mm (突起部を除く)
質量	約5g

## 外観寸法図



単位：mm

## トリガ使用例 (超小型動ひずみレコーダDC-204R/Ra使用時)



外部コントロールケーブルを図のように接続することで測定自動化を図ることができます。



株式会社東京測器研究所

### ▲安全に関するご注意

- 安全にお使いいただくため、ご使用前には、「取扱説明書」をよくお読みの上、記載内容に従ってご使用ください。



ISO 9001:2015 認証取得  
認証取得範囲 ISO9001  
ひずみゲージ、ひずみ測定  
装置、変換器の設計と製造

本社  
140-8560 東京都品川区南大井 6-8-2  
TEL.03-3763-5611 FAX.03-3763-6128



www.tml.jp

お問い合わせ、ご用命は